

JAによる地域を元気にする素敵なお話。

JAふるさとの育む人 #38「アスパラガス」



育む人 **川崎 昇一さん** 平鹿地区 73歳

栽培品目：アスパラガス50畝、米1.6畝、そば40畝

横手を代表する野菜「アスパラガス」

歯ごたえのある食感とやわらかな甘みが特徴のアスパラガス。アミノ酸の一種であるアスパラギン酸を多く含み、美肌作りに効果的。また、新陳代謝を促し、タンパク質の合成を高めるため疲労回復や滋養強壮にも効果があるとされています。

JA秋田ふるさとアスパラ部会は、部会員数209人。計61畝で栽培されており、昨年度の生産量は178トに上ります。横手を代表する野菜の一つとして、5月から9月頃まで生産されています。



独自の栽培方法で安定出荷へ

平鹿地区の川崎昇一さんは、同部会の副部長。会社の定年退職を機に、14年前からアスパラガスの栽培に取り組んでいます。

6年前からはさらなる早期出荷に向けて「トンネル栽培」と呼ばれる栽培方法に独自に挑戦。収穫時期を早めることで、春採りアスパラガスの収穫時期をより長くし、夏採りとの端境期で出荷量が減少する6月下旬にも出荷が可能となるなど、より安定的な出荷を実現。県内からも多くの農家が視察に訪れ、その栽培方法が注目されています。



すべては、食べてくれるひとのために

「おいしいアスパラガスをより安定して多くの方に届けたい。そのためにも、低コストで安定出荷が可能なこの栽培方法をもっと研究したい」と意気込む昇一さん。太陽の光を浴びて伸び続けるアスパラガスに想いを込め、今日もより良い栽培方法の確立に向けて模索を続けています。



春採りはシンプルな炒めものがおすすめ！
「アスパラガスのバターしょうゆ炒め」(2人分)

【材料】

アスパラガス・・・6本
バター……………20g
しょうゆ…小さじ1

【作り方】

①アスパラガスは堅い部分を取り除き、斜めに切る。
②熱したフライパンにバターを入れて炒める。
③しょうゆを加えさっと炒めて完成！